

次の日本語を英訳せよ。

(50点)

- (1) 人間の感情は空気と似ている。真空状態があれば、そこに空気は入っていかうとする。それと同じように、相手の中にこちらが入っていく余地があれば、そこに自分の感情を移すことができる。こうして相手の感情を自分のものとして感じる事が可能になる。この作用が相互に行われていくと、お互いの交流が成立するのである。(25点)
- (2) 我が家の犬は番犬のつもりで飼ったものだが一向に役に立たない。のん気な主人に似たと見えて、見知らぬ人間がやってきても吠えるわけでもなし、誰にでも尻尾を振る始末である。世知辛い世の中だけに、こうした犬も貴重なのだらうと考えて、あきらめている。

(25点)

問題

次の日本語を英訳せよ。 (50点)

- (1) 人間の感情は空気と似ている。真空状態があれば、そこに空気は入っていきこうとする。それと同じように、相手の中にこちらが入っていく余地があれば、そこに自分の感情を移すことができる。こうして相手の感情を自分のものとして感じる事が可能になる。この作用が相互に行われていくと、お互いの交流が成立するのである。(25点)
- (2) 我が家の犬は番犬のつもりで飼ったものだが一向に役に立たない。のん気な主人に似たと見えて、見知らぬ人間がやってきても吠えるわけでもなし、誰にでも尻尾を振る始末である。世知辛い世の中だけに、こうした犬も貴重なのだろうと考えて、あきらめている。(25点)

解答

- (1) Human emotion resembles air. When there is a vacuum, air tries to get into it. In the same way, when there is room in another person for us to enter, we can transfer our emotions there. By doing so, we can feel his or her emotions as our own. When this process happens on both sides, deep communication becomes possible.
- (2) We got our dog as a watchdog, but he has been a total disappointment. Easygoing like his master, he wags his tail at anyone instead of barking at strangers. I've come to accept him for what he is ; in this heartless world, maybe such a gentle creature is of value after all.

別解

- (1) Man's feelings are like air. As air tries to enter a vacuum when there is one, so we can transfer our feelings to another person when there is room in him or her for us to enter. This empathy enables us to experience his or her emotions as if that were our own. If this process is mutual, communication is established.
- (2) Our so-called "watchdog" is hopeless. He never barks at strangers, and even wags his tail at anyone : apparently he's come to resemble his easygoing master. Now I take him as he is, thinking such a dog may have his value in this cold world.

解説

(1) **文構造を組み立てやすい主語を設定する**

■ **組み立てのポイント**

- 第1文、第2文は日本語の流れ通りに訳せばよい。
- 第3文は In the same way ; Likewise (同様に) として前の文とつながりを持たせた後に if [when] 節を続けて表現できるが、前の文と一緒にし、「真空状態があれば、そこに空気が入っていきこうとするように、相手の中にこちらが入っていく余地があれば、そこに自分の感情を移すことができる」と考えて、(just) **as** ~ , **so** … というように英訳することもできる。

関連必修テーマ

- 和文和訳 1
- 和文和訳 2
- 主語の設定 1
- 主語の設定 2
- 動詞の注意点

○第4文は, In this way [By doing so], we can feel … のように, 日本文通り, **副詞句を用いて表す**他, 前の文を受ける this を主語に This enables us to … (これによって私たちは…することが可能になる) としてもよい。

■ **語句・表現**

○「人間の感情は空気と似ている。」 Human [Man's; Our] emotions resemble air. と英訳できる。emotion は単数, 複数のどちらでもよい。feeling を使うのであれば複数形にすること。air は「空気」の意味では不可算名詞なので無冠詞で使う。「～に似ている」は resemble ~; be like ~; bear a resemblance to ~; be similar to ~ などで表す。

○「真空状態があれば, そこに空気は入っていこうとする。」「真空状態」は vacuum であるが, これは可算名詞なので不定冠詞 a を前に付けて使う。If [When] there is a vacuum, air tries to enter [get into] it. となる。

○「相手の中にこちらが入っていく余地があれば」「相手」は another person でよい。「こちらが入っていく余地があれば」の「余地」は room を使うが, この意味では無冠詞単数で用いる。if [when] there is room in another person for us to enter / if [when] there is room in another person (which) we can get into というような英訳となる。

○「こうして」は単に前文を受けて by doing so [this] とするか in this way; thus; as a result of this とすればよいが, 具体的に前の文で使った動詞の名詞形, あるいは動名詞を使い, by the transference of our emotion into another [him or her] / by transferring our emotion into another [him or her] のようにもできる。

○「相手の感情を自分のものとして感じる事が可能になる」は we can feel [experience] his or her emotions as our own / we can feel his or her emotions as if that were our own のような英訳となる。また「こうして」を具体的に「相手の中に自分の感情を移すこと」としてこれを主語とし, enable を使って The transference of our emotions to another enables us to feel his or her emotion as our own. とすることも可能だが, 単に this enables us to feel … でよいだろう。その他「感情移入」という心理学用語の empathy を使えば, through this empathy, we can feel ~ / this empathy enables us to … というように簡潔に表すことも可能となる。

○「この作用が相互に行われていくと」 when [if] this process happens on both sides [mutually] / when [if] this process is

mutual

- 「お互いの交流が成立するのである」は「相互の意思の伝達が可能になる」と考え、mutual communication becomes possible [is established] と英訳できる。また、「お互いの交流」は communication 自体が「人と人との意思伝達」を示すので communication だけでもよいし、mutual understanding ; real communication としてもよい。

(2) 分詞構文で接続関係をすっきりと表す

■ 組み立てのポイント

- 第1文は「我が家の犬は番犬として飼った」、「しかし一向に役に立たない」という2文を but で結ぶ構成がまず思い浮かぶだろう。ただしここでは後半に重点があるので、「我が家のいわゆる番犬は一向に役に立たない」とすっきり単文で表現するのもよい。
- 第2文では、「のん気な主人に似たと見えて」の表し方がポイントで、ここを「主人のようにのん気で」として分詞構文で示し、「彼は見知らぬ人間がやってきても吠えるわけでもなし、誰にでも尻尾を振る」を続ける構成が簡明で、自然である。その他、この配列を逆にして、「見知らぬ人間が…始末である」を先に出し、「おそらくのん気な主人に似てきてしまったせいだろう」と付け加える方法もある。
- 第3文も読み換えも含めて工夫を要するところで、1文で表すか、2つの文に分けて表現するかによって、構成を考えてみることである。前者なら「あきらめている」を「私は彼をそのままに受け入れている」と読み換えた上でそれを構文の中心に据え、「こうした犬も世知辛い世の中では貴重なものと考えて」の部分で「理由」を示す分詞構文で表すとよいだろう。後者なら「私は彼をそのまま受け入れるようになった」をまず独立した文として示し、次に「こうした犬も世知辛い世の中では貴重なものなのだろう」と続ける構成が考えられるだろう。

■ 語句・表現

- 「一向に役に立たない」の「役に立たない」は useless がまず思い浮かぶところだが、hopeless や (a total [big]) disappointment (期待はずれのもの) といった表現もある。
- 「のん気な主人に似たと見えて」は分詞構文 (being) easygoing [happy-go-lucky] like his master が簡潔だが、付加的に apparently [probably] he has come to resemble his easygoing master のように表してもよい。
- 「吠える；尻尾を振る」共に次にくる前置詞は to ではなく、at になることに注意。

関連必修テーマ

和文和訳1
和文和訳2
前置詞の注意点

⚠ Warning

at ~ (～に向かって) は
‘方向；目標’を表す。

- 「あきらめている」は「ありのままの彼を受け入れている」と考えて accept him for what he is または take him as he is とするのがよい。
- 「貴重な」be valuable [of value] か have his value が適切。
- 「世知辛い世の中」は this harsh [heartless ; cold] world がよい。



発展

この表現を押さえておこう！

☆ **mutually** 「相互に」

Ex. Attempts to reach a *mutually* agreed solution had been fruitless.

(相互に納得のいく結論になるよう試したが、無駄だった。) (COBUILD)